

平成25年行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	留学生の受入・派遣体制の改善充実等		担当部局	高等教育局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度・なし		担当課室	学生・留学生課留学生交流室	学生・留学生課長 渡辺 正実		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 14-1 国際交流の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	留学生の受入・派遣体制の改善充実等の政策の遂行を目的として、そのために必要となる行政事務を実施する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	以下の行政事務を実施する。 ・国費外国人留学生の募集受入 ・留学生政策の推進(留学生政策についての調査研究等) ・外国政府奨学金留学生の選考 ・その他、留学生の受入・派遣体制の改善充実等に資する一般行政事務						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	当初予算	35	25	23	21	20	
	補正予算	0	0	0	0		
	繰越し等	0	0	0	0		
	計	35	25	23	21	20	
	執行額	21	19	16			
執行率(%)	60.0%	76.0%	69.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は留学生の受入・派遣体制の改善充実等の政策の遂行に係る行政事務であるため、事業の実施の成果を定量的に示すことは困難である。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	留学生の受入・派遣体制の改善充実等の政策の遂行に係る会議等を実施している。 ※主な活動実績の例として、外国人留学生の選考等に関する調査・研究協力者会議の開催回数を記載。		活動実績 (当初見込み)	22	34	26	—
				(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	※所掌する行政事務を実施・推進するものであるため、単純に単位あたりのコストを算出することはなじまない。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	5百万円	5百万円				
	職員旅費	2百万円	2百万円				
	委員等旅費	4百万円	4百万円				
	庁費	9百万円	9百万円				
	計	21百万円	20百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない			

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 要 投 入 性 の 有 効 性 事 業 の 効 率 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・本事業は、留学生の受入・派遣体制の改善充実等の政策の遂行に資する行政事務に要する経費であり、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	・支出先の選定に当たっては、会計規則等に基づき一般競争入札を実施するなど、その妥当性や競争性を確保している。 ・事業の実施に当たっては、費目・使途など内容を精査しており、真に必要なものに限定して執行している。 ・当初予定していた会議の開催回数の見直し、印刷物の印刷部数の見直しにより不用が生じた。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○			
受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
単位当たりコストの水準は妥当か。	—	・事業の実施に当たっては、費目・使途など内容を精査しており、真に必要なものに限定して執行している。 ・当初予定していた会議の開催回数の見直し、印刷物の印刷部数の見直しにより不用が生じた。		
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○			
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低成本で実施できているか。	○			
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	・留学生の受入・派遣体制の改善充実等の政策の遂行に資するために会議を実施するなど、事務費に要した経費は、政策実現のための手段として十分に活用されている。		
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>・本事業に係る経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めた。 ・具体的には、会議等に係る経費を執行することで、留学生の受入・派遣体制の改善充実等の政策の遂行に資する事務を円滑に実施した。 ・謝金、旅費、庁費の使途に応じて、有識者や業者などに支出しているが、経費の執行に際しては、執行一覧を作成し、支出先・使途を適切に把握している。 ・各年度の執行状況等を踏まえ、所要額の算定を適切に見直しており、平成25年度においては、前年度から予算額を縮減している。</p>			

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

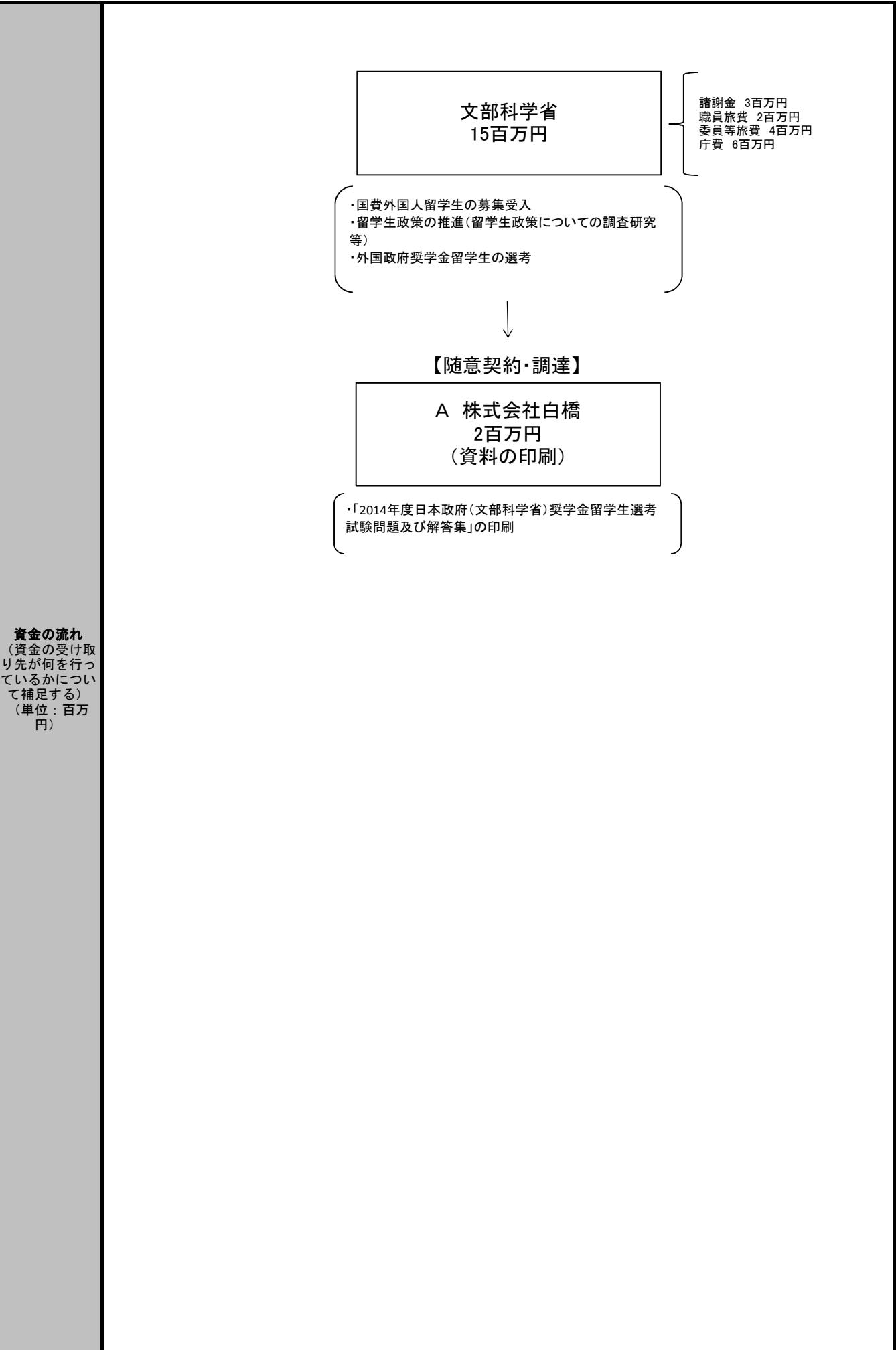
事業内容の改善	1. 事業評価の観点:本事業は留学生の受入れ・派遣体制の改善充実等の政策遂行のための行政事務経費であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見: 本事業は、所掌する行政事務を推進するために必要な経費であるが、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。
---------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減	これまでの執行実績を踏まえ、会議開催経費、印刷物作成に係る経費等の見直しを図り、概算要求に▲0.8百万円反映した。
----	---

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年 0393	平成23年 0171		平成24年 0192	



支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社白橋	「2014年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験問題及び解答集」	2	随意契約	—